



発行 信太山に里山自然公園を求める連絡会

連絡先 NPO 法人信太の森FANクラブ 0725-44-8404 e-mail : hanaizm@ares.eonet.ne.jp



信太山市有地内のヤマツツジ

2013/4/29 俗称 つつじヶ丘

信太山は、江戸時代ツツジの名所として知られていました。かつて、(今から30年前頃)5月は全山赤く染まりました。下グサを刈り、間伐すればツツジは復活します。その片鱗です。

和泉市長選挙立候補予定者に聞く

「公開質問状」の回答

‘13/5/7

任期満了に伴う和泉市長選挙は5月25日に公示、6月2日(日)投票で行われます。

懸案の信太山丘陵市有地の保全と活用について、去る2月13日に答申された「信太山丘陵市有地保全・活用検討委員会」の基本方針(案)について、立候補が予定されているお二人にお尋ねしました。

辻 宏康現市長と井坂善行前市長のお二人です。質問に対しご回答いただいたそのまますを転載いたします。なお、質問は下記の通り、質問の主旨は4ページに掲載します。

【質問】

- 1, 信太山丘陵市有地保全活用検討委員会の答申に対するご見解と対応についてお聞かせ下さい。
- 2, この答申を受けて、信太山丘陵(市有地)の保全と活用の施策・事業化をどのように展開していくおつもりでしょうか(方法・時期など)
- 3, 答申でも課題としていますが、当該地域周辺(聖神社・惣ヶ池・信太山野外活動センター・和泉黄金塚古墳など)との連携のあり方についてご見解をお聞かせ下さい。

辻 宏康 現市長の回答

信太山丘陵市有地保全活用検討委員会の答申に関する「公開質問状」への回答

- 1 信太山丘陵市有地保全活用検討委員会の答申に対するご見解と対応について
お聞かせ下さい。

回答：この委員会は、信太山丘陵市有地の豊かな自然環境の保全と市民への活用の基本的な方針を示していただくため、学識経験者や公募市民の参画を含め市長の付属機関として設置したもので、平成25年2月13日に答申をいただいた和泉市信太山丘陵市有地保全活用基本方針（案）は、その策定過程で行われた市民との意見交換会やパブリックコメントなどの意見も踏まえ、同委員会において熱心に議論された成果であり、多くの市民の声を反映して作成されたものと理解しています。

つきましては、今後は本案を尊重し具体化に向け取り組むべきものと認識しています。

- 2 この答申を受けて、信太山丘陵（市有地）の保全と活用の施策・事業化をどのように展開していくおつもりでしょうか。（方法・時期など）

回答：平成25年度は基本方針（案）で課題とされていた点の整理を進めながら専門家のご指導下、市民参加によるワークショップ形式での基本構想（案）の策定が必要と考えています。また、その後も引き続き具体的設計や整備に至るまで、行政と市民とが協働で取り組みを進めるような、従来にない公園づくりを展開することが、豊かな自然環境を背景とした信太山丘陵市有地のあるべき姿であると考えています。

- 3 答申でも課題としていますが、当該地域周辺（聖神社・惣ヶ池・信太山野外活動センター・和泉黄金塚古墳など）との連携のあり方についてご見解をお聞かせ下さい。

回答：信太山丘陵の持つ歴史性や、現存施設の有効活用を十分視野に入れながら信太山丘陵市有地のあり方を検討していく必要があると考えています。特に、当該地域は、総合計画に歴史文化との共栄地域と位置づけ、市街地の中でも自然や歴史を感じられるまちとされてことから、基本構想（案）の作成に際しては、こうした点も含めて市民と協働で意見交換を図りながら取り組むものと考えています。

平成 25 年 5 月 5 日

平成 25 年和泉市長選挙立候補予定

辻 宏康 

井坂善行 前市長の回答

公開質問状回答（信太山に里山自然公園を求める連絡会）

- 1, 信太山丘陵は、先人が大切に育ててきた貴重な自然環境が残る和泉市の財産であり、次世代に継承すべきものと考えております。その意味で、答申は非常に評価すべき内容であり、答申にそって早期の具現化が必要と考えます。

- 2, 公民協働のもと、保全活動を担うNPOの協力を得ながら、まず現状の四季ごとの動植物の生息状況の現地調査を行う（平成25年着手）とともに、並行して、市・専門家・公募市民からなるワークショップを設置し、保全方法などの具体的な意見交換を開始する。
広大な面積なので、息の長い段階的な保全、整備が基本になりますが、現地調査をもとにした動植物の保全の順位づけや、保全エリアの順位づけをもとに、総合的な評価を行い、その上で平成26年から順次保全に着手したいと考えます。

- 3, 聖神社など地域周辺の重要な文化施設等との連携を進めるために、環境学習、歴史学習等の視点から、「学びの回遊ルート」の設定を行い、一時的な交通制限を設け、ゆったりと散策していただく中で、①「発見、学び、感動」から保全活動の賛同者を増やす、②保全活動の継承者を育てる、2つの視点が必要と考えます。
 - ① 現地ガイドとして、NPO等の協力を得ながら、市民には、地域周辺一帯の和泉市の宝の再発見と学びの機会を提供し、このような自然環境、歴史資源を持つ市民であることの誇りを喚起する。
市外から訪れる方には、和泉市の良さの発見と感動を享受いただく機会を提供し、市内・市外から保全賛同者を募り、里山保全基金の設立や保全活動の参加を促す。そして、四季ごとに案内状を出すなどリピーターを増やしなが、賛同者に保全活動に参加してもらう機会の創出を図る。

 - ② 保育園、幼稚園、小中学生の授業の一環（自然体験学習）として、現地ガイドのお話を通じて、「人と自然の共生」の重要性を認識させ、信太山丘陵周辺はもちろんのこと、自分の校区の自然を守る意識を幼児期から育み、自然を守る担い手として育成していく。また、地域の町会、子ども会活動などの機会も活用し、信太山丘陵への遠足などを通じて、自然の大切さや保全の必要性を大人が子供に伝えていく活動を支援する。

平成25年 5月 4日
平成25年和泉市長選挙立候補予定

井坂善行



平成25年4月吉日

和泉市長選挙立候補予定

殿

信太山に里山自然公園を求める連絡会

会長 山千代重榮

公開質問状のお願い

拝啓

陽春の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る和泉市長選挙に対し、立候補を決意され連日奮闘されていますことに深い敬意と激励をおくります。

私たちは、和泉市北部に広がる信太山丘陵の里山的自然環境の保全と活用を願い仮称「里山自然公園」の実現を求めて、学習・研究・観察・ボランティアなどを自主的にすすめて参りました。

平成23年、私たちは「信太山丘陵の市有地（16ha）の野生生物の生態系を保全し、里山的自然環境の保全を図ること」を求め、1万人を超える署名簿を添えて和泉市議会へ請願し、9月議会に於いて採択されました。

そして、平成24年6月、和泉市は当該市有地の当初計画を改め、自然環境の保全と活用を図ると決断し、9月より審議会「信太山丘陵市有地保全活用検討委員会」を発足させました。同検討委員会は5回に及ぶ審議を経て平成25年2月「基本方針」（案）として答申しました。（答申は和泉市HPに掲載）

私たちは、「基本方針」（案）が「信太山丘陵市有地は生物多様性に富んでおり、次の世代へ継承していくべき市民の財産、地域のシンボルである」と位置づけ「里山的環境を保持し、市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用していく」と示されていることを大いに歓迎するものです。そして、今後、この「基本方針」（案）がどう具体化され事業化されるかについて大きな期待と関心を寄せています。請願署名に賛同していただいた多くの市民もまた同様であろうと考えます。里山的自然環境を保全し、生物多様性を守るという今日的課題に迫る和泉市の先駆的な取り組みを心から期待しております。

以上のことから、この度の市長選挙に立候補を予定されている方々にご見解と政策をお伺いいたします。ご多忙中とは存じますが5月5日までに文書にてご回答いただきますようお願い申し上げます。いただいたご回答は私どもの機関誌及びHP上に掲載させていただき所存です。ご了承下さい。

敬具

信太山丘陵自然観察会

毎月第4日曜日 9:00集合～12:00

鶴山台4丁目 惣ヶ池公園 参加費200円

5月は夏の渡りの季節 キビタキ、オオルリ、
ホトトギスなど観察できます。

食虫植物イシモチソウも花をつけます

主催；信太の森FANクラブ